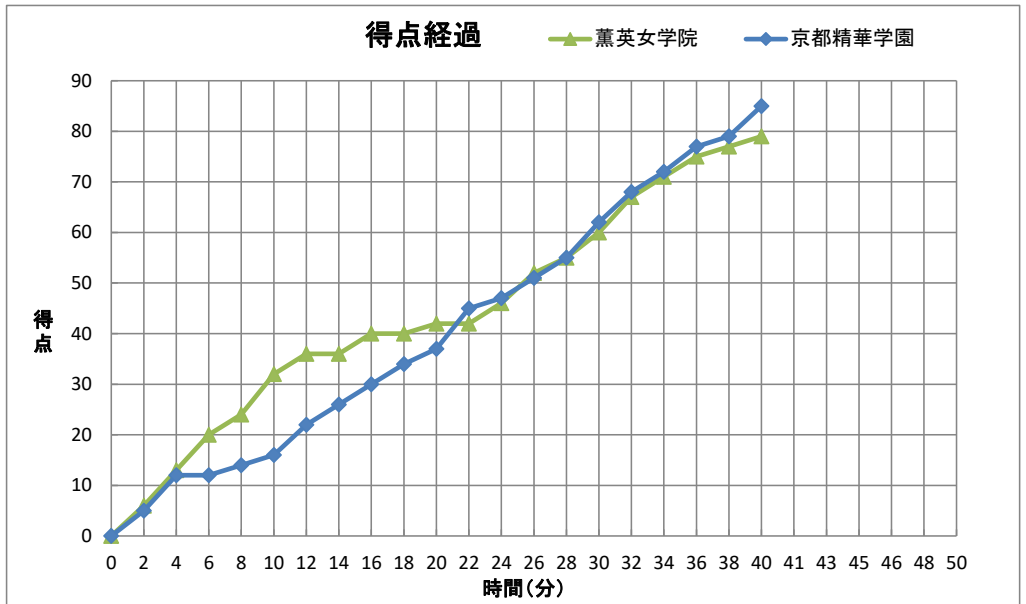




令和3年度
第68回近畿高等学校バスケットボール大会

個人トータル表

女子		6月27日				13:00 開始																	
決勝						B																	
薫英女学院 79		<table border="1"> <tr><td>32</td><td>1st</td><td>16</td></tr> <tr><td>10</td><td>2nd</td><td>21</td></tr> <tr><td>18</td><td>3rd</td><td>25</td></tr> <tr><td>19</td><td>4th</td><td>23</td></tr> </table>				32	1st	16	10	2nd	21	18	3rd	25	19	4th	23	85		◎ 京都精華学園			
32	1st	16																					
10	2nd	21																					
18	3rd	25																					
19	4th	23																					
番号	氏名	得点	3P	2P	FT	反則	番号	氏名	得点	3P	2P	FT	反則										
* 4	都野 七海	21	0	10	1	5	* 4	瀬川 心暖	8	2	1	0	1										
5	仲江 穂果	-	-	-	-	-	5	呉本 明津実	-	-	-	-	-										
6	熊谷 のどか	19	5	1	2	2	* 6	植村 文音	9	1	3	0	0										
* 7	奥村 萌生	6	2	0	0	0	7	高井 月	-	-	-	-	-										
* 8	佐藤 双羽	9	1	2	2	4	8	山崎 玲音	2	0	1	0	0										
* 9	宮城 楽子	10	0	5	0	3	9	宮武 亜衣	-	-	-	-	-										
10	細川 未菜弥	-	-	-	-	-	10	白石 ちさと	-	-	-	-	-										
11	木本 桜子	-	-	-	-	-	11	山西 美愛	-	-	-	-	-										
12	大橋 りのあ	-	-	-	-	-	12	山西 凛愛	-	-	-	-	-										
* 13	島袋 栞	14	0	7	0	2	13	川地 汐夏	0	0	0	0	0										
14	木本 桃子	-	-	-	-	-	14	大森 心寧	-	-	-	-	-										
15	松本 莉緒奈	-	-	-	-	-	15	ディマロ ジェシカ	4	0	2	0	1										
16	北村 野花	-	-	-	-	-	* 16	八木 悠香	16	0	8	0	2										
17	山中 琉々夏	-	-	-	-	-	* 17	堀内 桜花	5	0	0	5	0										
18	吉田 華子	-	-	-	-	-	* 18	イゾジェ ウチェ	41	0	17	7	2										
コーチ	安藤 香織					0	コーチ	山本 綱義					1										
Aコーチ	長渡 由子						Aコーチ	中川 瀬名															
合計		79	8	25	5	16	合計		85	3	32	12	7										
主審: 富島 健司																							
副審: 太田 令菜																							
副審: 深野木 慧																							



CTO	1・2P	3・4P	OT1	OT2	OT3	OT4
TeamA	19:14	39:20	39:52	:	:	:
TeamB	5:13	37:12	39:45	:	:	:

〔戦評〕

近畿高等学校バスケットボール大会女子決勝は、前回大会まで11年連続優勝の大阪薫英女学院高等学校と決勝戦まで危なげなく勝ち進んだ京都精華学園高等学校の対戦となった。

第1Q ディフェンスは、両チームともオールコートマンツーマンでスタート。薫英は#13島袋のゴール下シュートで先制。対する京都精華学園は、#6植村の3Pで得点し、#18イゾジェのドライブインで反撃。薫英#9宮城のドライブイン、#13島袋のゴール下で加点し、#8佐藤が3Pを決め、点差を6点に広げられたところで京都精華学園はたまたずタイムアウト。京都精華学園はタイムアウト後、薫英の厳しいディフェンスになかなか攻めることができず、連続ターンオーバーで薫英がリードを広げ、32-16で第1Q終了。

第2Q 出だし京都精華学園は、#15ディマロのゴール下シュート、#6植村のドライブインで反撃に出る。勢いに乗る京都精華学園に対し、薫英は厳しいディフェンスから攻撃に出るが得点が止まる。薫英の#8佐藤が個人ファウル3となり、交代したところから、京都精華学園は#18イゾジェのゴール下シュート、タツシュートで連続得点する。40-37で前半終了。

第3Q 前半の勢いそのまま京都精華学園は#18イゾジェのゴール下で連続得点し、逆転する。薫英は1-2-2ゾーンプレスでターンオーバーを誘い、#4都野のドライブインで加点していく。京都精華学園は#16八木のリバウンド、ゴール下での得点で、一進一退の攻防が続く。第3Qだけで4本の3Pを決めた薫英#6熊谷のブザービーターで60-62第3Q終了。

第4Q 薫英はオールコートプレスから#4都野、#9宮城の1on1で加点。さらにドライブなどで果敢に攻めるも#18イゾジェのブロックショットでリズムに乗れない。一方京都精華学園は高さを生かし#16八木、#18イゾジェのゴール下で着実に加点する。両者一歩も譲らず、残り1分を切り3点ビハインドになったところで薫英はタイムアウトを請求。速い展開からノーマークを作るもゴールに嫌われ得点することできない。最後は京都精華学園の#17堀内が落ち着いてゲームをコントロールし、79-85で試合終了。どちらも一歩も譲らない展開だったが、京都精華学園が57年ぶりに優勝を飾った。